

校内の課題に生徒が提言

内子高校小田分校で全校会議

内子高校小田分校（内子町寺村）の生徒が校内の課題解決を考える「小田校生全校会議」が19日あった。今年は一小田校改革」をテーマに議論し、生徒は「分校存続のため生徒も学校の魅力発信に参加したい」「余裕を持って行動できる時間割に変えたい」などと活発に提言した。

自主的に課題を見つックス（オタカン）と題して話し合っ解決を模して毎年開催。1〜3年生72人は9班に分かれて自由に意見を出し

魅力発信に参加／休み時間延長 最適化

合い、提案内容を校りだ。「生徒版」は、教職員が取り組んでいる分校の魅力発信を手伝うことを提案。中学校に進学を提案した2年山田愛菜さん(16)は「い学校なのでなくなってほしくない。実現し間割変更を提案し、時ばうれしい」と期待し、が評価された。

「生徒版」は、教職員が取り組んでいる分校の魅力発信を手伝うことを提案。中学校に進学を提案した2年山田愛菜さん(16)は「い学校なのでなくなってほしくない。実現し間割変更を提案し、時ばうれしい」と期待し、が評価された。

分校は魅力化推進校に指定されているが、入学生が3年連続30人以下の場合、再編の可能性がある。魅力化推進案を提案した2年山田愛菜さん(16)は「い学校なのでなくなってほしくない。実現し間割変更を提案し、時ばうれしい」と期待し、が評価された。

（今西晋）



①自分たちで考えた小田分校の改革案を発表する生徒たち
②「小田校改革」をテーマにアイデアを出し合う